

松本市多事争論会



ワクチン（ファイザー製）の供給数

クール	期間	合計		累計	
		箱	回数	箱	回数
3	4月12日～4月25日	1	975	1	975
4	4月26日～5月9日	8	7,800	9	8,775
5	5月10日～5月23日	22	25,740	31	34,515
6	5月24日～6月6日	24	28,080	55	62,595
7	6月7日～6月20日	33	38,610	88	101,205
8	6月21日～7月4日	28	32,760	116	133,965
9	7月5日～7月18日	15	17,550	131	151,515
10	7月19日～8月1日	14	16,380	145	167,895
11	8月2日～8月15日	14(予定)	16,380	159	184,275
12	8月16日～8月29日	14(予定)	16,380	173	200,655
合計		173	200,655		

ワクチン接種 64歳以下のスケジュール

接種順位		7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	64～60歳 (13,225人)	7/22～予約開始 8/16～接種開始					
2	59～50歳 (31,827人)		7/29～予約開始 8/16～接種開始				
3	49～40歳 (35,095人)			8/下旬～予約開始 9/中旬～接種開始			
4	39～30歳 (25,669人)			未定～予約開始 10/中旬～接種開始			
5	29～16歳 (32,049人)				未定～予約開始 11/中旬～接種開始		
職域接種			8/9以降 接種開始予定				

8/16以降の予定接種会場 アルピコプラザ4階(毎日)、アルピコプラザ6階(土・日曜日)、病院・個別医療機関

基礎疾患がない40代以下の皆さんへ

予約開始・接種開始時期について
決まり次第、以下によりご案内します。

松本市の

ホームページ

LINE（ライン）

Twitter（ツイッター）

広報まつもと



お友達数 増えています！↗

R3.4.15 2,918名

6.25 23,742名

7. 5 35,874名

● ご注意ください ●

新型コロナワクチンは、 他のワクチンと前後2週間あける必要があり、 同時接種はできません

他のワクチン（高齢者肺炎球菌、日本脳炎など）を接種する場合は、
下記 のいずれかで接種していただくようお願いします。

新型コロナワクチン → 新型コロナワクチン → **2週間後以降** → 他のワクチン

他のワクチン → **2週間後以降** → 新型コロナワクチン → 新型コロナワクチン

例えば、4月1日に新型コロナワクチンを接種した場合、
他のワクチンを接種できるのは、4月15日（2週間後の同じ曜日の日）以降になります。

デルタ株（インド由来）について

● 松本市のL452Rスクリーニング実施状況

L452Rが陽性だとデルタ株の可能性が高い

6/8～29公表分

- 陽性者数 42人
- 検査実施数 30件（実施率71.4%）

結果

- L452R陽性数 0件
- L452R陰性数 29件
- 解析不能 1件
- 結果待ち 0件



デルタ株（インド由来）について

【特徴】

感染性は、従来株の約 2 倍

アルファ株（イギリス由来）は約1.3倍



従来株と比較して

同じウイルス量でも感染しやすい可能性

感染者から排出されるウイルス量が多い可能性

デルタ株（インド由来）について

【対策】

- 三密（密閉、密集、密接）のいずれも避けること
- 換気の徹底
- 人と人との距離は十分に
（ソーシャルディスタンスの確保）
- マスクの確実な着用
マスクを鼻にフィットさせてしっかり着用
可能であれば不織布マスクの利用



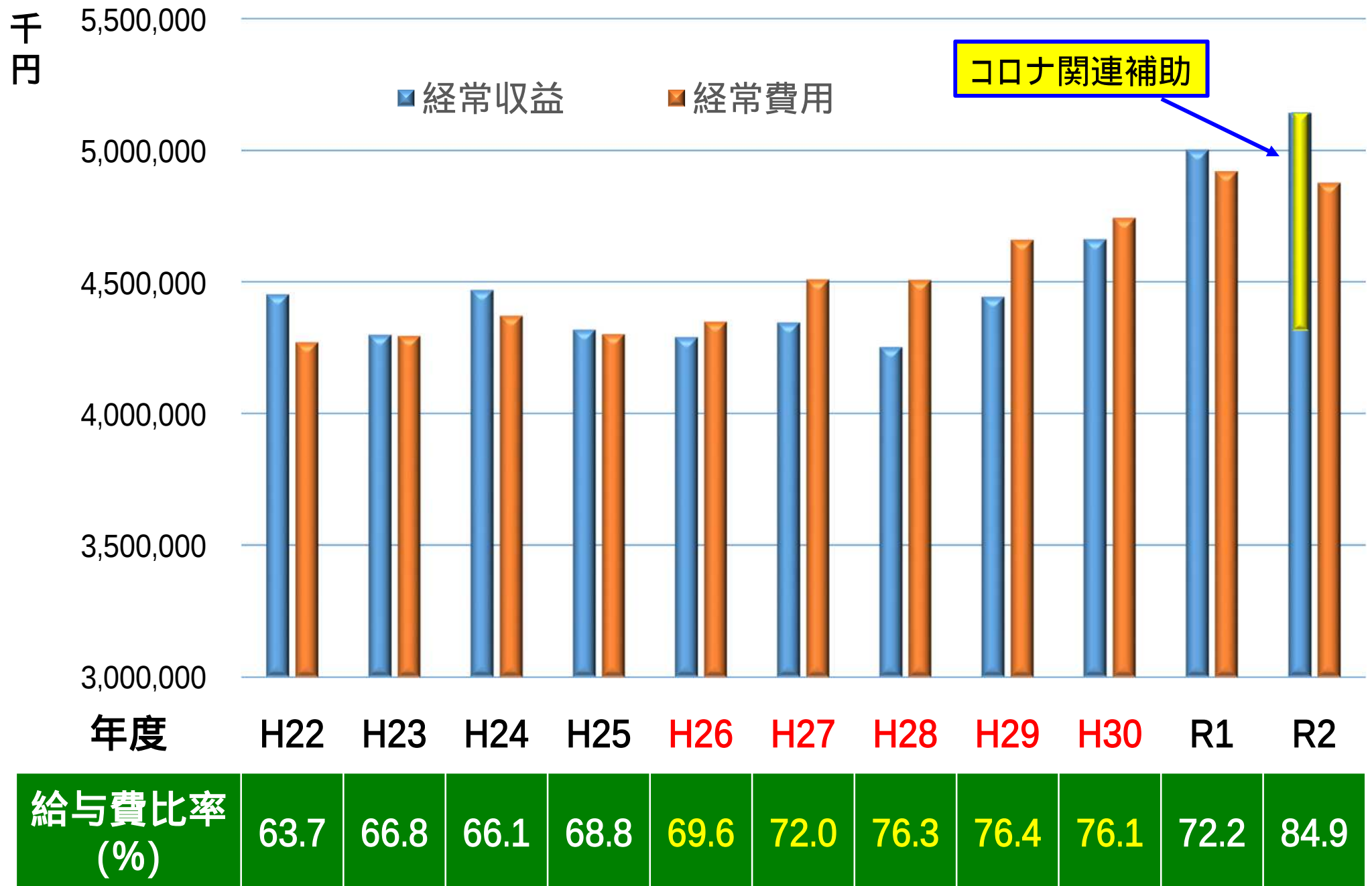
新市立病院の建設ビジョン

市立病院建設基本計画見直しの骨子（案）について

新病院建設事業の経過

- H 3 0 . 3 松本市立病院建設基本計画策定
- H 3 0 . 7 連続の赤字決算のため中断
- R 2 . 3 宮地エンジニアリング(株)との協議終了
- R 2 . 6 建設事業再開
- R 2 . 1 2 病院局基本構想を市長に提出
専門者会議が提言を市長に提出
庁内調整会議で検討
- R 3 . 6 . 2 4 市立病院建設特別委員会で協議

市立病院の経常収支・給与費比率の推移



新病院の規模・目標・経営形態

病 床

病床数
199床 180床

個室割合
15% 50%

周産期病床は
6～10床、全て個室
感染症病床6床とし、
30床程度増床可能な構造へ

病 棟

急性期病棟
2病棟

回復期
リハビリテーション病棟
1病棟

地域包括ケア病棟
1病棟

診 療 科

27科
↓
26科

産婦人科を縮小
放射線科を廃止
その他：継続

目 標

病床稼働率 95% 給与費比率 65%

経営形態

地方公営企業法全部適用を継続

地域における役割

- ・今後、複数疾患を抱える高齢患者の増加が見込まれるので、**全人的全人生医療**の提供を行えるよう、体制を整備する。
- ・**松本西部地域の基幹病院**としての役割を果たす。
- ・地域密着型の**在宅療養支援病院**として、西部地域の地域包括ケアシステムの一翼を担う。
- ・松本広域圏唯一の公立病院として、周産期医療、小児医療、へき地医療、感染症医療、救急医療などの**政策医療**を担う。
- ・認知機能の予防も含めた全市的な**フレイル予防センター**としての機能を新病院の特色として据える。

感染症医療

- ・松本医療圏の感染症指定医療機関として感染症医療の中核的な役割を果たす。
- ・感染症病床6床を維持し、流行状況に応じ、30床程度の増床に対応可能な構造とする。
- ・患者や職員の動線確保や、個室を基本とした設計により、感染症に強い病院構造とする。

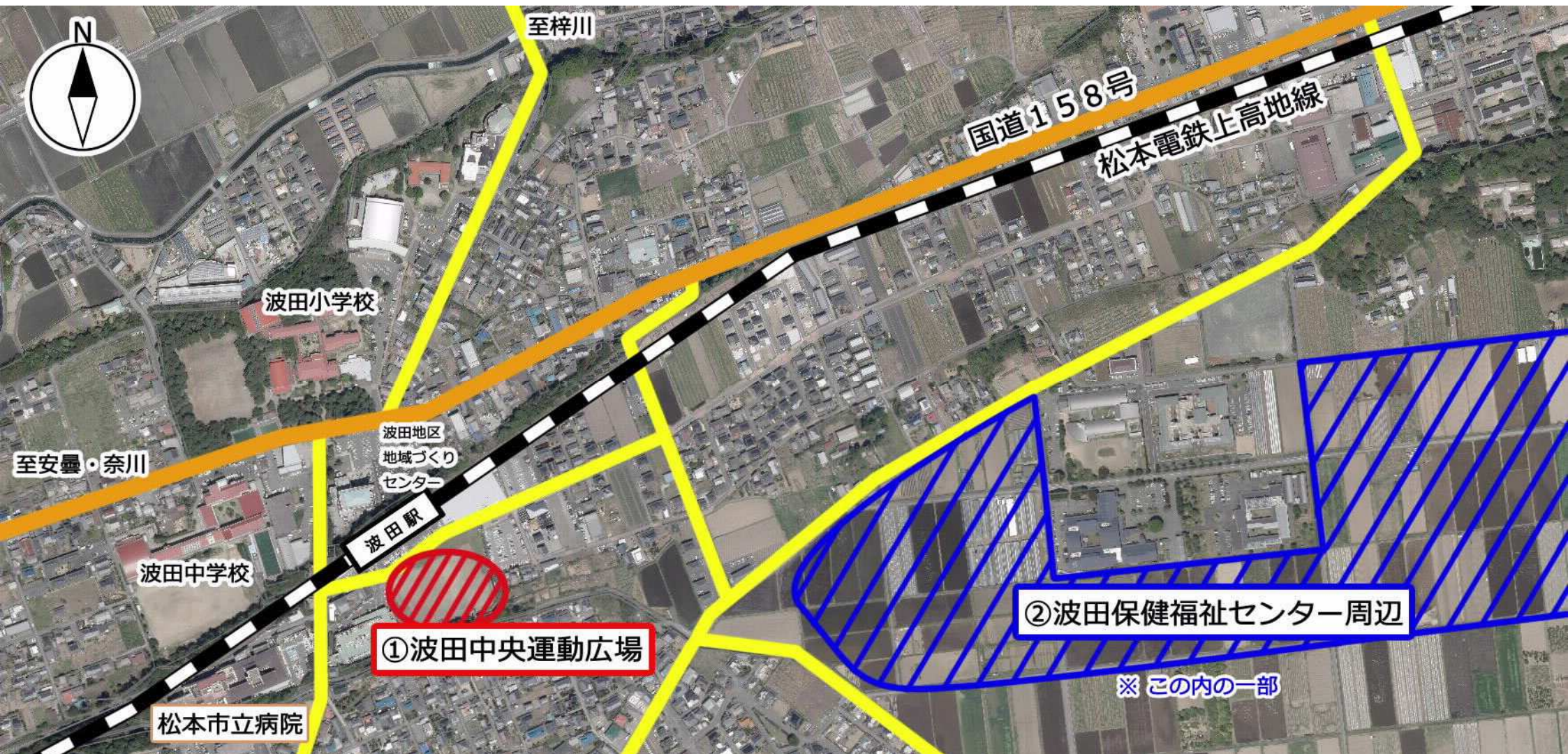
病床数等

- ・病床数は、将来を見据えた医療需要・診療機能・財政予測に基づき、**180床**とする(現病床数より9.5%ダウンサイジング)。
- ・**稼働率95%**を目標とする。
- ・**個室割合を全病床の50%**(有料個室割合を全病床の30%弱)とする。
- ・急性期病棟を2病棟(看護体制7対1 10対1、夜勤4人体制3人体制)、回復リハ病棟を1病棟、包括ケア病棟を1病棟の構成とする。

財務状況と経営方針

- ・持続可能な経営を行っていくために、将来を見据えた財政計画を立てる。
- ・病院の経営形態については、**地方公営企業法全部適用**を継続する。但し、独立行政法人化についての調査研究を継続して行い、地方公営企業事業管理者による改革実績を見極めた上で、地方独立行政法人化を検討する。
- ・人件費比率(給与費比率)(非常勤を含む)目標値を**65%**とし、開院3年後の目標達成を目指す。
- ・病院建設事業コストの縮減対策を十分講ずる。
- ・市からの政策医療に対する経営支援規模を明確にする。
- ・収支状況の改善状況に応じて、一般会計からの繰入額を見直す。
- ・現病院建物・敷地の有効活用を検討する。

市立病院建設候補地



建設候補地 ①

波田中央運動広場

建築規模(概算)

- ・ 敷地面積: 11,800 m²程度
- ・ 建物階数: 4階
- ・ 延床面積: 15,000 m²程度
- ・ 建築面積: 3,800 m²程度
- ・ 総事業費: 79.1億円程度



波田中央運動広場

メリット・デメリット

- ・ 市街化区域であり、都市機能誘導区域に位置し、立地適正化計画に合致。
- ・ 用途区域の変更が不要であり、建設の早期着手が可能。
- ・ 現病院施設の後利用が可能。
- ・ 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)が含まれ、対策工事が必要。
- ・ 運動広場の代替地が必要。
- ・ 駅周辺の狭隘化が進み、車両通行、スクールゾーン等へ影響。

建設候補地 ②

波田保健福祉センター周辺

建築規模(概算)

- ・ 敷地面積: 29,800 m²程度
- ・ 建物階数: 2階
- ・ 延床面積: 15,000 m²程度
- ・ 建築面積: 7,500 m²程度
- ・ 総事業費: 87.9億円程度



波田保健福祉センター周辺

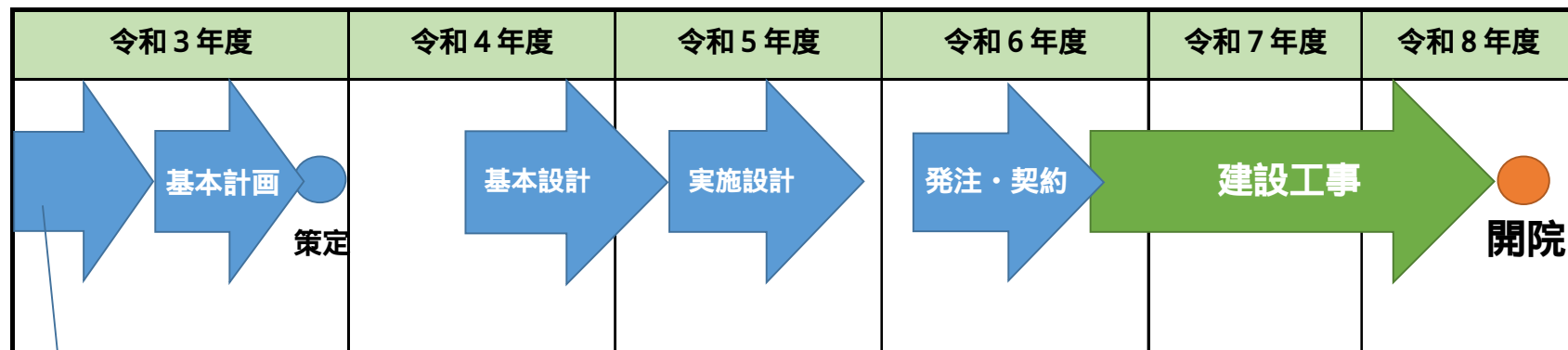
メリット・デメリット

- ・ 自然災害の影響が少ない。
- ・ 自然環境に恵まれ、リハビリ庭園など快適な療養環境を整備可能。
- ・ 福祉ゾーンとして整備されてきた経緯がある。
- ・ 市街化調整区域内に病院を建設する合理的理由が必要。
- ・ 農振農用地であり、農業政策との調整が必要。
- ・ 地区計画の検討を必要とし、建設着手に時間を要する。

スケジュール

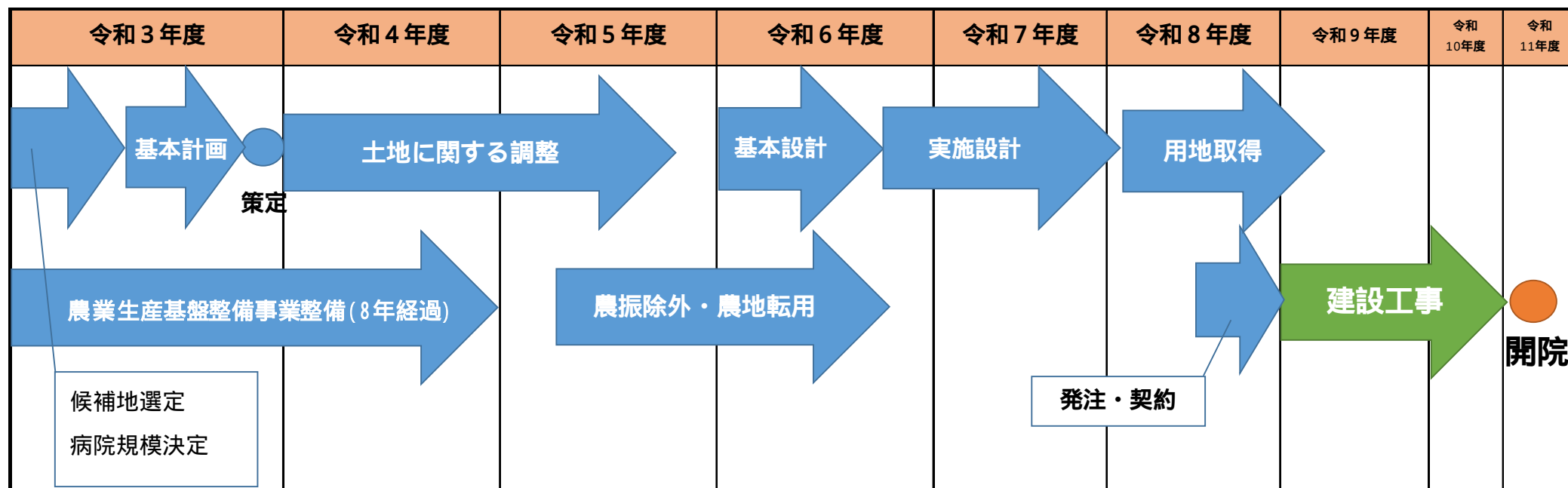
見直し骨子(案)

波田中央運動広場の場合



候補地選定
病院規模決定

波田保健福祉センター周辺の場合



～ 新病院建設を通じたまちづくり ～

